

こんな経験、ありませんか？

バンドの濃さは明らかに違う。他の分析法でも明らかに差がある。絶対に有意差がありそうなのに、定量値で検定すると、全く有意差が無い。これは、どうしたことだろう・・・。

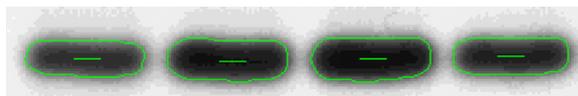


これは、正しく定量されていないことから生じる問題です。長年、そんな悩みを解決してきたのが、Bio Image の画像解析ソフトウェアです。Bio Image のボリューム定量法は、20 年以上経った今でも最も信頼されています。

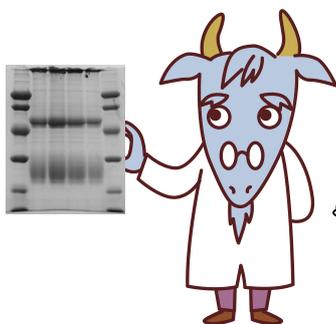
ボリューム定量って何？

Bio Image の”ボリューム定量”法は、自動的にバンドの周囲の変曲点を探し出し、それをつないでバンドの輪郭を検出し(自動バウンダリー機能)、囲ってボリュームを求める定量法です。バックグラウンドの補正は、レーン毎に自動で行っています。

< 輪郭検出例 >



こんなご要望、ありませんか？

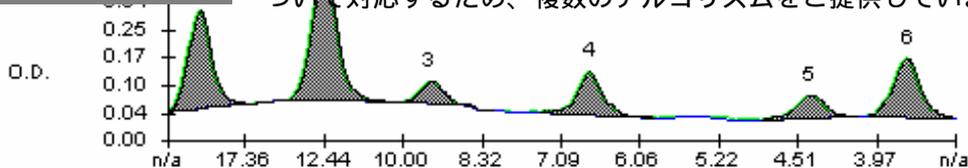


スキャナーやカメラって便利そうだから使ってみたい。それで、従来のデンストメーターのような使い方ができたらいいな・・・。

通常、スキャナーやカメラで取り込んだイメージの場合、バンドの濃さ(インテンシティー)は、デジタル値(8bit なら 0~255 までの数値)で表わされています。

Bio Image のソフトウェアは、スキャナーやカメラと組み合わせでデンストメーターとして使用できます。市販のデンストメーターは、検定された OD Step Tablet を用い、工場で調整されてから出荷されています。Bio Image のソフトウェアでは、その検定済み OD Step Tablet (標準付属)を用い、イメージをキャリブレーションすることで、正確で信頼性の高い結果を得ることができます。

Densitometry Tool では、従来のデンストメーターと同様の解析に加え、メーカーによって異なるバンドの境界の決め方や%表示について対応するため、複数のアルゴリズムをご提供しています。



(註) OD Step Tablet は、OD 値を検定済みの下のようなフィルムです。

